

# 第11回日本理学療法教育学会学術大会

2022年11月5日(土)・11月6日(日)

会場／福島県立医科大学保健科学部(予定)

テーマ／理学療法教育の活性化～ハード・ソフト・ハートの実践～

学術大会長／本田知久(総合南東北病院)

理学療法教育

2022, 1(1), 54

©2022 日本理学療法教育学会

<http://jspt.japanpt.or.jp/jspte/>



大会ホームページ

## 大会長挨拶

このたび、第11回日本理学療法教育学会学術大会を2022年11月5日(土)・6日(日)に福島県福島市にあります福島県立医科大学保健科学部(予定)にて開催させていただきますことになりました。

現代は、あらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し、感染や災害等で将来の予測が困難な状況にあることから、「VUCA(ブーカ)時代」と呼ばれ、激変する時代にあわせた理学療法教育が求められています。VUCAとは、Volatility(変動性・不安定さ)、Uncertainty(不確実性・不確定さ)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性・不明確さ)という4つのキーワードの頭文字から取った言葉です。私たち理学療法士を取り巻く状況も、高まる社会の要請に応え、働く場所は介護施設や訪問リハビリなど地域に広がり、対象者一人ひとりの環境や人間性を考慮し、信頼を得るため科学的根拠に基づいた理学療法の確立も求められています。また新型コロナウイルスの影響で、養成校や臨床現場はIT環境も含め強制的に変化しております。

そのような現状に対応するため、2022年には(公社)日本理学療法士協会においても、新生涯学習制度の運用が開始されます。そして学生を育てていくための理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の施行から2年が経過し、臨床実習も新しい指定規則による実践が行われています。このような激変の時代において私たち教育に携わる者が学

びを止めるわけにはいきません。そこで第11回学術大会のテーマを『理学療法教育の活性化～ハード・ソフト・ハートの実践～』としました。

私は病院でリハビリテーション科と教育研修室を兼務しています。臨床場面では緊急性が問われるとどうしても教育が後回しになり、人材育成が停滞する現状をこれまで体感してきました。そこで教育研修室では組織目的の達成に向けて職員の質向上をするために、教育のハード面、ソフト面、ハート面へ、状況に合わせたアプローチを実践し続けてきました。本大会サブテーマにある、ハードとは、施設物品環境・IT・仕組み、ソフトは技能・知識、ハートは態度・価値観・あり方等です。本大会では教育に関する様々な実践を共有し議論や情報交換をすることで、皆さまの明日からの理学療法教育を活性化の一助になればと考えています。

法人化した日本理学療法教育学会として、初めて東北の地で2日間単独開催となります。40演題発表、3つの講演と3つのシンポジウムを企画しております。集合型で開催し対面で話し合い、気持ちを伝えあえる場にしたいと思います。学術的研鑽および卒前・卒後教育に有益な学術大会になるように最善を尽くしてまいります。学会運営スタッフ一同、皆さまのご参加・ご発表を心よりお待ちしております。なお、COVID-19の状況により開催方法の変更がある場合は、大会ホームページにてお知らせいたします。

第11回日本理学療法教育学会学術大会 学術大会長 本田 知久

## プログラム

日時	テーマ	講師/座長/ シンポジスト	氏名	所属
2022/11/5	職場教育の活性化 ～ハード・ソフト・ハートの実践～	座長	日高 正巳	兵庫医療大学
		講師	本田 知久	総合南東北病院
	新人教育の活性化 ～私ならこう育てる！新人教育・新人指導者教育～	座長	薄 直宏	東京女子医科大学八千代医療センター
		シンポジスト	江草 典政	島根大学医学部附属病院
		シンポジスト	高木 亮輔	リハビリテーション中伊豆温泉病院
		シンポジスト	桂 理江子	東北文化学園大学
情意領域教育の活性化 ～これからの臨床教育者に求められる教育学的視点～	座長	桂 理江子	東北文化学園大学	
	講師	堀本ゆかり	国際医療福祉大学	
臨床実習の活性化 ～臨床実習の本質を考える。学内教育と学外教育の課題と連携～	座長	門馬 博	杏林大学	
	シンポジスト	有馬 慶美	看護リハビリ新潟保健医療専門学校	
	シンポジスト	松田 徹	亀田メディカルセンター	
	シンポジスト	日高 正巳	兵庫医療大学	
2022/11/6	教育プログラム開発の活性化 ～デザイン思考に基づく障がい者支援機器開発に携わる 医療・福祉・工学分野の人材育成モデル～	座長	日高 正巳	兵庫医療大学
		座長	大西 秀明	新潟医療福祉大学
		シンポジスト	出江 紳一	東北大学大学院
		シンポジスト	柿花 隆昭	東京大学医学部附属病院トランスレーショナルリサーチセンター
		シンポジスト	原 陽介	株式会社ライフトゥデイ
		シンポジスト	浅川 育世	茨城県立医療大学
理学療法教育研究の活性化 ～教育・学習のプロセスを明らかにする質的研究～	座長	本田 知久	総合南東北病院	
	講師	芳野 純	帝京平成大学	